

南の島紺碧の

大中(高)寮歌

みんなみ こんべき
1. 南の島 紺碧の

たた
湛えて深き 海の色

あしたに聞くは 安勝の

さんぶうれい
山風麗の 響きあり

紺碧: やや黒味を帯びた濃い青

山風麗: 山から吹いてくる風がうるわしい
麗: うるわしい、光り輝きがある、きよらか、あざやか

れいめい
2. いま黎明の 青雲(白雲)寮

夢を破りし 若人の

まなこ さんらん
さめし眼に 燦爛と

理想の意気は 空高し

黎明: 夜明け、明け方
※男女共学となり、女子寮(白菊寮)ができた

燦爛: 美しく輝くさま

3. 立てよ進めよ 自治の寮

愛と信義の 旗かざし

正義の刃の 行くところ

邪悪の風潮 影もなし

信義: 約束を守り、務めを果たすこと
偽り欺かないこと

ますらお
4. 嗚呼ときはゆく 丈夫よ

命おしまぬ 鉄石の

固き心を 誰が知る

いざいざ励まん 若き日を

丈夫: (益荒男)勇ましく力の強い男
勇気のある強い男子

※元歌は第三高等学校(現京都大学)逍遙の歌、「紅萌ゆる丘の花」である。